



令和5(2023)年度 2学期始業式 校長あいさつ

校長 川口 浩

みなさん、おはようございます。

いよいよ、2学期がスタートしました。先ほど紹介のあった新しいお友達も加え、元気な皆さんと1か月ぶりに再会できたことを、とてもうれしく思います。

さて、この1か月間皆さんはどのように過ごしましたか。私は、以前勤務したコロンボ日本人学校を訪れるためにスリランカという国を約20年ぶりに訪問しました。私が勤務した当時と比べると、道路や街の様子もだいぶ変化していました。スリランカという国は、歴史も古く多くの仏教遺跡が残っていたり、自然も豊かで道端で野生の象を何度か見かけたりもしました。マレーシアとの共通点も多く、多民族国家で多くの民族や宗教が共存しています。また、歴史的にもイギリスの植民地から独立して現在に至っています。独立した年は、スリランカが1948年、マレーシアが1957年で、スリランカの方が10年ほど早いです。しかし、その後の国の発展は、マレーシアの方が早いのではと感じました。その原因の一つは、スリランカの内戦です。同じスリランカ人同士が、独立後、民族の違いにより26年間も戦い続けたのです。私が勤務していた当時は、まだ内戦が続いており、自爆テロなどもあって、何かあると外出禁止令が出るなど、緊張感のある日々を過ごしていました。自分達で自分の国や人々を破壊し合うのですから、国の発展は、止まってしまいます。現在、この内戦は終わりましたが、この26年間の影響は、国の発展にとってとても大きな影響があったと思います。今後、このようなことを繰り返さないで、スリランカが順調に発展していってくれることを強く願います。

今回、スリランカを訪れて改めて感じたことは、SDGsの大切さです。SDGs大切さとは、私が何度も言う『自分も周りも大切に生きる生き方』のことで、スリランカの内戦では、“自爆テロ”という行為が何度も行われました。これは、自分の身体に爆弾をまき付け、多くの人々がいるところで爆発させることです。自分はもちろん、そこにいる多くの人々の命をうばってしまいます。つまり、SDGsとは真逆の『自分も周りもだめにする生き方』です。2学期もみなさんは、学校全体で取り組んでいるSDGsに関して、様々な活動をおこなうこととなります。その大きなねらいは、皆さん一人一人が『自分も周りも大切に生きる生き方』のできる人になって、より良い自分、より良い世界を築くところにあることを忘れないでください。

2学期も、9月の日本人墓地清掃、宿泊体験学習、また、マレーシアの他の3つの日本人学校の校長先生が、ジョホール日本人学校を訪問して下さります。10月の日本文化の日、12月のマレー文化の日などの学校行事や様々な活動、EC校との定期的な交流が予定されています。外に出かけたり、お客様を招いたりする際、皆さんは、個人としてだけでなく、日本の代表として見られていることを忘れないでください。みなさんの言動が、日本人学校や日本という国の評価にむすびつきます。この点が、日本国内の学校との、大きな違いです。「ジョホール日本人学校は、とても良い学校だな。」「日本は、素晴らしい国だな。」と思ってもらえるよう頑張りましょう。そのことが、皆さん自身の成長にもつながります。皆さんの大いなる活躍と成長を期待して始業式のあいさつとします。

SDGs 節電プロジェクト	2022年7月使用電力	2023年7月使用電力	今月の節電量	累計節電量
7月の結果	12231kwh	13065kwh	-1303kwh	-834kwh

◎ 保護者の皆様へ

2学期も、1学期同様、本校の教育に対しまして、ご理解ご協力をお願いいたします。カレー曜日や百人一首大会、図書ボランティアの方々の読み聞かせ等は、児童生徒がとても楽しみにしております。ご多用とは存じ上げますが、よろしくお願ひいたします。